

2021年5月6日
柏市長 秋山浩保様

日本共産党柏市議会議員団

コロナ禍のもとで、生理用品を必要とする人への無償配布・学校や公共施設へ常備することを求める緊急要請書

新型コロナウイルスの感染拡大の収束が見通せない中、雇用状況が悪化し、収入が減少している家庭の児童・生徒や、アルバイトができずに生活が困窮する学生も増えています。

こうしたもと、生活苦によって毎月の必需品である生理用品を買うことができず、交換回数を減らしたり、トイレットペーパーで代用するなどの深刻な実態が明らかとなっています。また、ネグレクトで親から生理用品を買ってもらえない子どもがいるとの指摘もあります。

すでに全国でも、また千葉県内でも、生活困窮者への生理用品の無償配布が始まっています。学校の保健室に配備されていても、生理のことを口に出せなかったり、保健室まで取りに行けずに困っている児童・生徒に配慮し、トイレへの設置も広がっています。県内では君津市が小中学校の女子トイレに設置しています。

日本共産党市議団として、3月30日に行った「新型コロナウイルス感染症対策に関する申し入れ」の中でも生理用品の支給を求めてきました。政府が新型コロナウイルスに対応するための予備費を活用し、経済的な理由で生理用品が買えない女性への対策を進めることを決定したことは前進ですが、この問題は緊急性を要します。あらためて、積極的な対策をとるよう、以下要請します。

- 1、生活困窮等の理由で生理用品を購入することが困難な女性に対し、市役所等で無料で配布すること。その際、窓口でのカード提示、ネット申請等でも受け取れる仕組みを作ること。
- 2、小中学校や公共施設のトイレに生理用品を常備すること。
- 3、学校の保健室における配備を充実させ、無償での支給とすること。

以上